

# 人文科学入門Ⅱb\* (日本史と文化財)



## 授業概要

正倉院宝物を具体的なテーマとして取り上げた授業を通して、正倉院宝物そのもののことはもちろん、7～9世紀頃における国際交流の問題や、世代を超えてバトンタッチしていかなければならない文化財の意義等について理解を深める。

正倉院宝物は、年代がはっきりしている、保存状態がよい、多様性があり数量が多い、優品が多い、世界性があるといった特質を有し、世界でも希少な文化財である。この授業では、この正倉院宝物をとりあげ、文化財に関わる様々な学問分野やその研究成果を紹介する。

実際の授業では、具体的な美術品や工芸品を見て理解する必要があるため、NHKが制作した『正倉院寶物』のビデオを多く使用するが、その要点をまとめた小レポートを毎回提出してもらうので、能動的な態度で受講してほしい。

担当教員 中村 太一  
北海道教育大学 釧路校  
教授



## 到達目標

1. 正倉院宝物に関する基礎的な知識の獲得。
2. 正倉院宝物を通じた古代日本の国際交流に関する理解。
3. 文化財とその保護・継承の意義に対する理解。

## 授業計画

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. ガイダンス  | 9. 国際交流論③   |
| 2. 概論①    | 10. 国際交流論④  |
| 3. 概論②    | 11. 講義：国際交流 |
| 4. 概論③    | 12. 文化財論①   |
| 5. 概論④    | 13. 文化財論②   |
| 6. 講義：概論  | 14. 講義：文化財論 |
| 7. 国際交流論① | 15. まとめと試験  |
| 8. 国際交流論② |             |

## 成績評価

到達目標の1と2に関して、  
①オンデマンド授業の小レポート  
②期末試験  
の2種類の方法によって評価します。配点等の詳細はオリエンテーションで説明します。